

みずほCustomer Desk Report 2022/04/06 号 (As of 2022/04/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

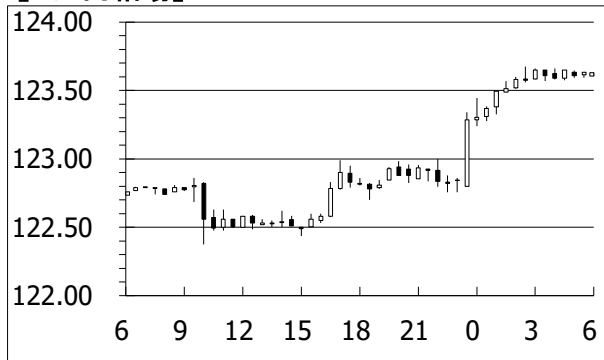
【昨日の市況概要】				公示仲値	122.58
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	122.80	1.0974	134.72	1.3111	0.7543
SYD-NY High	123.67	1.0988	135.11	1.3167	0.7661
SYD-NY Low	122.38	1.0900	134.30	1.3068	0.7536
NY 5:00 PM	123.63	1.0906	134.81	1.3072	0.7575
NY DOW	34,641.18	▲ 280.70	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	14,204.17	▲ 328.39	日本10年債	0.2100	0.00bp
S&P	4,525.12	▲ 57.52	米国2年債	2.5231	10.71bp
日経平均	27,787.98	51.51	米国5年債	2.7032	15.87bp
TOPIX	1,949.12	▲ 4.51	米国10年債	2.5534	16.10bp
シカゴ日経先物	27,565.00	▲ 475.00	独10年債	0.6085	9.45bp
ロンドンFT	7,613.72	54.80	英10年債	1.6525	10.90bp
DAX	14,424.36	▲ 93.80	豪10年債	2.8550	2.30bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.13	▲0.05%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.68	0.05%
NY金	1,927.50	▲ 6.50	USDJPY 6M Vol	8.48	▲0.03%
WTI	101.96	▲ 1.32	USDJPY 1M 25RR	0.25	Yen Put Over
CRB指数	298.153	0.51	EURJPY 3M Vol	10.30	0.30%
ドルインデックス	99.47	0.47	EURJPY 6M Vol	10.00	0.25%

東京	東京時間のドル円は122.80レベルでオープン。朝方は日銀の黒田総裁による「今回の為替相場の変動はやや急」との発言が円安牽制とみられ、一時122.40割れの水準まで円高推移するもその後は、122円半ばで値幅の狭い動きとなり、122.56レベルで海外時間に渡った。東京時間13時半過ぎに発表された豪政策金融会合ではキャッシュレートが予想通り0.1%に据え置かれたものの、金融引き締め「忍耐強く」取り組むとの文言を削除したことを受け、AUD円は93円台前半まで上昇した。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は122.56レベルでオープン。朝方は円売りが優勢となり、東京朝方の黒田日銀総裁の発言を受けた円高を取り戻し、一時122.99まで上昇した。その後は値幅の狭い動きとなり、122.93レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は122円台後半でスタートするが、黒田日銀総裁の「今回の為替相場の変動はやや急」との発言に円買いで反応し、一時122.38まで下落。しかし、すぐに買い戻され、欧州時間には122.99まで反発し、122.93レベルでNYオープン。朝方は122円台後半でもみ合い、10時発表の米3月ISM非製造業景況指数は予想を小幅に下振れるもドル円の反応は限定的。その後、ブレイナードFRB理事が「バランスシートを5月にも急速なペースで縮小へ」、そしてジョージ・カンザスシティ連銀総裁が「緩和的政策の撤廃に疑問の余地はない」と述べ、効派色の強い発言が伝わったことから米長期金利の上昇とともに買いが強まり、123円を上抜け、123.50近辺まで上昇。午後はじり高推移となり、高値を123.67まで更新。終盤は高値圏で小動きとなり、結局、123.63レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でレンジトレード。早朝にはEUがロシア産石炭の輸入禁止を提案すると伝わるも、反応は鈍く、1.0968レベルでNYオープン。午前はFRB高官の効派発言がドル買い材料となり、1.09台前半まで下落。午後は米金利上昇が一巡後するも、高水準を維持しており、ユーロドルは上値重い推移が継続。1.0900を数回タッチするも、明日のFOMC議事録を控え、様子見ムードが広まっている中、下抜けることなく1.0906レベルでクロス。

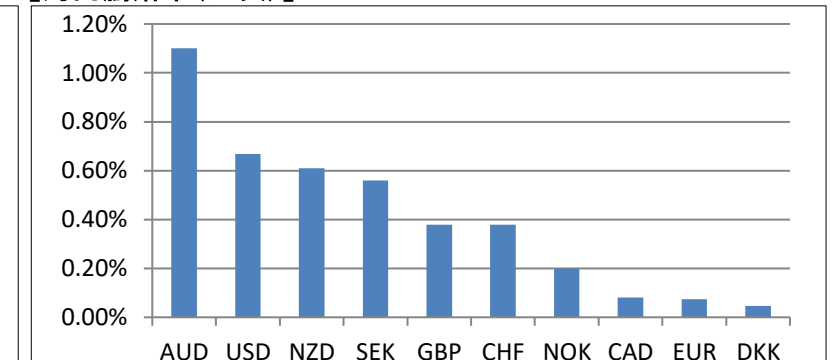
【昨日の指標等】						結果	予想
Date	Time	豪	米	米	米		
4月5日	13:30	豪				RBAキャッシュレート	- 0.1% 0.1%
	21:30	米			2月	貿易収支	-\$89.2b -\$88.5b
	23:00	米			3月	ISM非製造業景況指数	58.3 58.5
	23:05	米				ブレイナードFRB理事 講演	「5月にもバランスシートを急速に縮小開始へ」
4月6日	01:30	米				デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	「5月にもバランスシート縮小開始する可能性も」

【本日の予定】						予想	前回
Date	Time	独	欧	欧	米		
4月6日	15:00	独			2月	製造業受注(前月比)	-0.3% 1.8%
	18:00	欧			2月	PPI(前月比/前年比)	1.2%/31.6% 5.2%/30.6%
	19:45	欧			-	レーン・カナダ中銀副総裁 講演	- -
	22:30	米			-	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	- -

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	123.00-124.50	1.080-1.095	133.80-135.50

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円はオープン後、日銀の黒田総裁による「今回の為替相場の変動はやや急」との発言が円安牽制とみられ一時122.40割れの水準まで下落するも、その後は122円半ばでのレンジ推移で海外時間に入った。海外時間のドル円はブレイナードFRB理事による「BSを5月にも急速なペースで縮小へ」とのタカ派発言から、米金利上昇とともにドル円は節目の123.00を超え123.67まで上昇すると123.63でクロス。
 本日のドル円は堅調な推移を予想する。
 本日はFOMC議事録の発表を予定している。前回のFOMCでは、バランスシート縮小を巡る協議をしたとしており、約9兆ドル規模のBS縮小についての詳細に注目が集まる。昨日もブレイナードFRB理事がBS縮小についてタカ派な発言をしており、米金利の上昇、米株安、ドル円は節目の123円を超えた水準となった。本日も昨日の流れを引き継ぎ、ドル円は上昇することを予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・大谷